

「居心地が良く歩きたくなる“まちなか”づくり」 に向けた社会実証実験の実施について

1 趣旨・目的

歩きやすい環境づくりや公共空間でのイベント創出に向けた社会実証実験に取り組み、「居心地が良く歩きたくなる“まちなか”づくり」を推進する。

検証結果は「上田城 城下町エリアビジョン策定事業」や、今後の広場・道路等の改修方針に生かすとともに、民間主導による賑わいづくりの方向性を探る。

2 社会実証実験

(1) 上田駅周辺の賑わい創出に向けた社会実証実験

- ア 場所 上田駅お城口水車前広場
- イ 概要 キッチンカー等による飲食・物販等の営利活動を伴う出店を試行
- ウ 期間 令和6年7月の毎土曜日4日間を予定
- エ 運営 出店事業者の調整はまちづくり上田(株)（上田商工会議所、商工課）が行う。

(2) 歩きたくなる城下町づくりに向けた社会実証実験

- ア 場所 柳町通り
- イ 概要 通行車両の混雑緩和に向けた誘導施策
※実施方法、時期などは関係団体と調整中

3 実施体制

- ・都市計画課、商工課、観光シティプロモーション課で構成する部局横断プロジェクトを立ち上げ、エリアビジョンの策定、まちなかでの賑わいの創出、城下町エリアでの観光振興などの連携が求められる施策課題に取り組む。
- ・プロジェクト名：「ちょいまちプロジェクト上田」



気軽なアクションから始める

「少しのことからちょっといい街を」の思いになぞって「ち・よ・い」のひらがなを組み合わせた形になっています。ペン1本あれば数秒で描くことのできるマークにすることで、誰でも気軽に参加できるボトムアップ型・共創型のプロジェクトであることを表しました。このマークを描いた瞬間、あなたもプロジェクトの一員です。

人の視点で考える

ロゴマークのモチーフはいいねサインをする人です。街づくりの原点である「そこに住む人、そこを訪れた人の気持ちを考えること」を表しています。もし、プロジェクトを進める中でなにかに迷うことがあれば、このロゴマークを見て「人の視点で考えること」を思い出してみてください。

